

令和7年5月22日

「BE THE LOVED COMPANY REPORT 3.0」を作成しました

- 近畿経済産業局では、人を価値創出の源泉として社員の幸せを最大の目的とする「人的資本経営」を実践し、付加価値の向上を目指す企業経営の拡大と浸透のために、令和4年度から「BE THE LOVED COMPANY PROJECT」を推進しています。
- 令和6年度は、特に「自律的に考動する人財を育む組織」という観点から調査を実施しました。今回のレポートでは、①経営者が有する「自律的に考動する人財を育む経営」の根底にある、人(社員)の人間性と能力の捉え方、②これらの会社で育まれる自律人財 9名のインタビューから得た、人の「自律性」の多様性の発見(いる・なる・する)、③結果として当該人財が中核を担うことによる会社への経済的・社会的影響への連関を示した「BE THE LOVED COMPANY MAP (愛される会社の価値観と自律的資本転換モデル)」を構築しました。

1. 概要

経済産業省では「産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会」において、我が国経済の長期持続的な成長環境を構築すべく「国内投資拡大、イノベーション加速、国民所得向上の3つの好循環」を実現のため、地方と都会、大企業と中小企業といった格差解消を成長につなげつつ、域内需要の減少をもたらす少子化を食い止める「地域の包摂的成長」という考え方を重視しています。

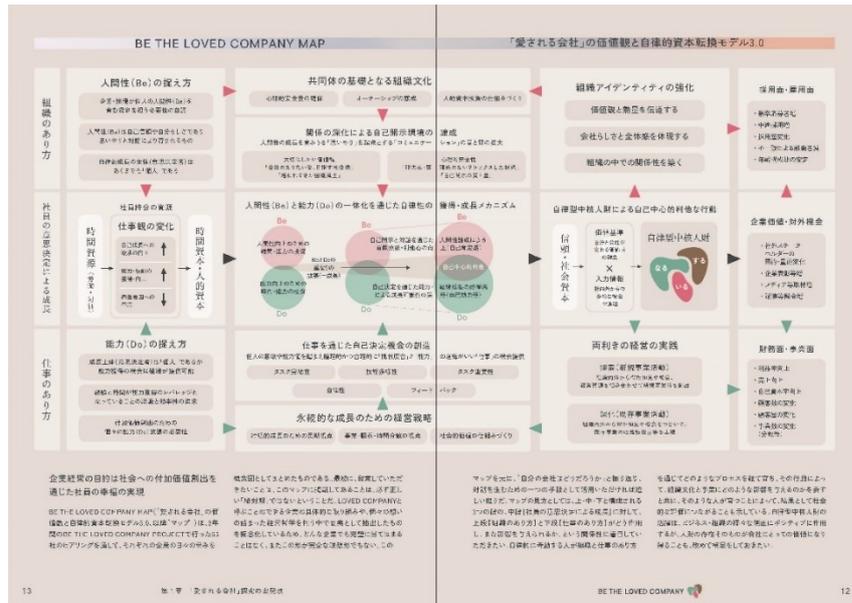
その実現に向け、地域の核となる中堅・中小企業の役割に注目すると同時に、労働供給制約下における「良質な雇用」の解像度を高めることが重要です。

近畿経済産業局では、「人(社員)の幸せを中心に据えた経営」を実践する企業を発掘し、当該経営の在り方や可能性について検討を行うとともに、こうした経営を普及させるための機運醸成を図るべく、65社の中堅・中小企業のご協力のもと、「BE THE LOVED COMPANY PROJECT」を実施してきました。

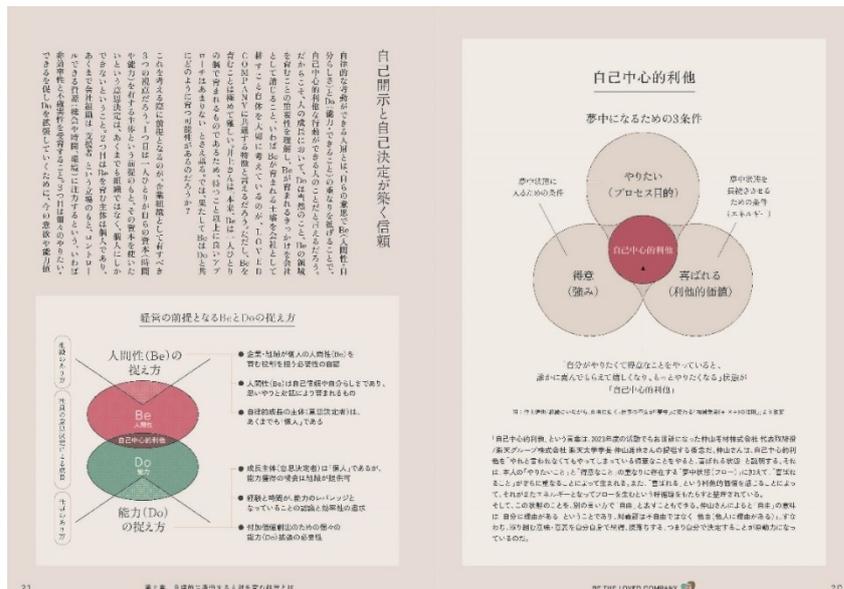
本年度は、愛される会社がいかに自律的に考動する人財を育むかに加え、こうした会社で活躍する自律人財の多様性・多義性を捉えました。さらに、結果として当該人財が中核を担うことによる会社への経済的・社会的な影響への連関を示した「BE THE LOVED COMPANY MAP (愛される会社の価値観と自律的資本転換モデル)」を構築しました。

2. 成果物(REPORT 3.0)のポイント (協力企業は本体参照)

- 1章 「愛される会社」探求の出発点
 - 令和4年度から実施した本事業の取組を振り返りながら、LOVED COMPANYの経営の目的、貫徹された営みが育む組織の価値の全体像を「BE THE LOVED COMPANY MAP (愛される会社の価値観と自律的資本転換モデル)」として構築。



- 2章 自律的に考動する人財を育む経営とは
 - 自律的に考動する人財を育む観点から特色ある企業経営者 6 名にインタビューを実施。会社というコミュニティが持つ役割として、人(社員)の人間性(Be)と能力(Do)の拡大と統合を通じて「成長」が育まれるという考え方を提示。



● 3章 自律型中核人財の多様性と可能性

- 本事業を通じて発掘した9名の自律型中核人財(自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財)にインタビューを実施。自らが起点となり、他者の前向きな変化を促すその在り方の多様性(いる・なる・する)と、当該人財がもたらす事業・組織への作用について提示。

自律型中核人財の「いる・なる・する」

する：組織・事業の可能性を
広げる人

顧客が深く浸透する社会や複雑な課題に直面し、それを乗り越えるため、同僚の力を借り、結果の追求を達成し、成長し続ける人

「1」 自律型中核人財は、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財であり、その在り方は多様である。彼らは、顧客の課題を解決し、成長を促進するために、自らの能力を最大限に発揮し、組織の発展に貢献している。彼らは、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財であり、その在り方は多様である。彼らは、顧客の課題を解決し、成長を促進するために、自らの能力を最大限に発揮し、組織の発展に貢献している。

なる

組織の精神的な柱となる人

組織の発展が、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財の存在によって支えられている。彼らは、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財であり、その在り方は多様である。彼らは、顧客の課題を解決し、成長を促進するために、自らの能力を最大限に発揮し、組織の発展に貢献している。

いる・なる・する

自律型中核人財の多様性について、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財の存在が、組織の発展に貢献している。彼らは、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財であり、その在り方は多様である。彼らは、顧客の課題を解決し、成長を促進するために、自らの能力を最大限に発揮し、組織の発展に貢献している。

「2」 自律型中核人財は、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財であり、その在り方は多様である。彼らは、顧客の課題を解決し、成長を促進するために、自らの能力を最大限に発揮し、組織の発展に貢献している。

● 4章 人間性を育む企業群と「地域の包摂的成長」

- 2章で述べた人間性(Be)を育むことの重要性と併せて難易度の高さを示しつつ、一方で当該価値観を有する企業が群となり人を育むことを通じて、政策的課題たる「地域の包摂的成長」に資する可能性を提示。

Beを育むことの重要性と困難

Beを育むことは、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財の存在によって支えられている。彼らは、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財であり、その在り方は多様である。彼らは、顧客の課題を解決し、成長を促進するために、自らの能力を最大限に発揮し、組織の発展に貢献している。

「3」 自律型中核人財は、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財であり、その在り方は多様である。彼らは、顧客の課題を解決し、成長を促進するために、自らの能力を最大限に発揮し、組織の発展に貢献している。

自律型中核人財の多様性について、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財の存在が、組織の発展に貢献している。彼らは、自らの意思でいきいきと働きながら会社の中核的役割を担う人財であり、その在り方は多様である。彼らは、顧客の課題を解決し、成長を促進するために、自らの能力を最大限に発揮し、組織の発展に貢献している。




3. 今年度以降の取組について

近畿経済産業局では、「人(社員)の幸せを中心に据えた経営」の実践・浸透・普及が「地域の包摂的成長」において重要であるとの認識のもと、引き続き、人的資本経営の推進を進めて行くために、同経営の現状を可視化する指標の検討等に取り組んで参ります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 総務企画部

中小企業政策調査課長 阿瀬

担当者: 作野、浜田、田中

電話: 06-6966-6057

メール: bzl-kin-chushokigyoseisaku@meti.go.jp

